

南相馬市立病院病床再編計画における2病院の再編方針

【小高病院】

当面は無床のサテライト診療所として運営します。その間においても、外来診療、在宅医療、遠隔診療等を推進し、また、レントゲンなどの医療機器の整備など、診療所機能の強化に努めます。（具体的な無床のサテライト診療所のイメージは別紙参照）

また、医師確保などに関する課題を解決した上で、総合病院との連携を密にした19床の附属有床診療所等の入院機能の整備を目指します。

【総合病院】

○300床として運用することを目指して整備を進めます。

ただし、300床への増床については現時点での想定であり、今後の県等との協議により、具体的な病床数及び病床機能について決定してまいります。

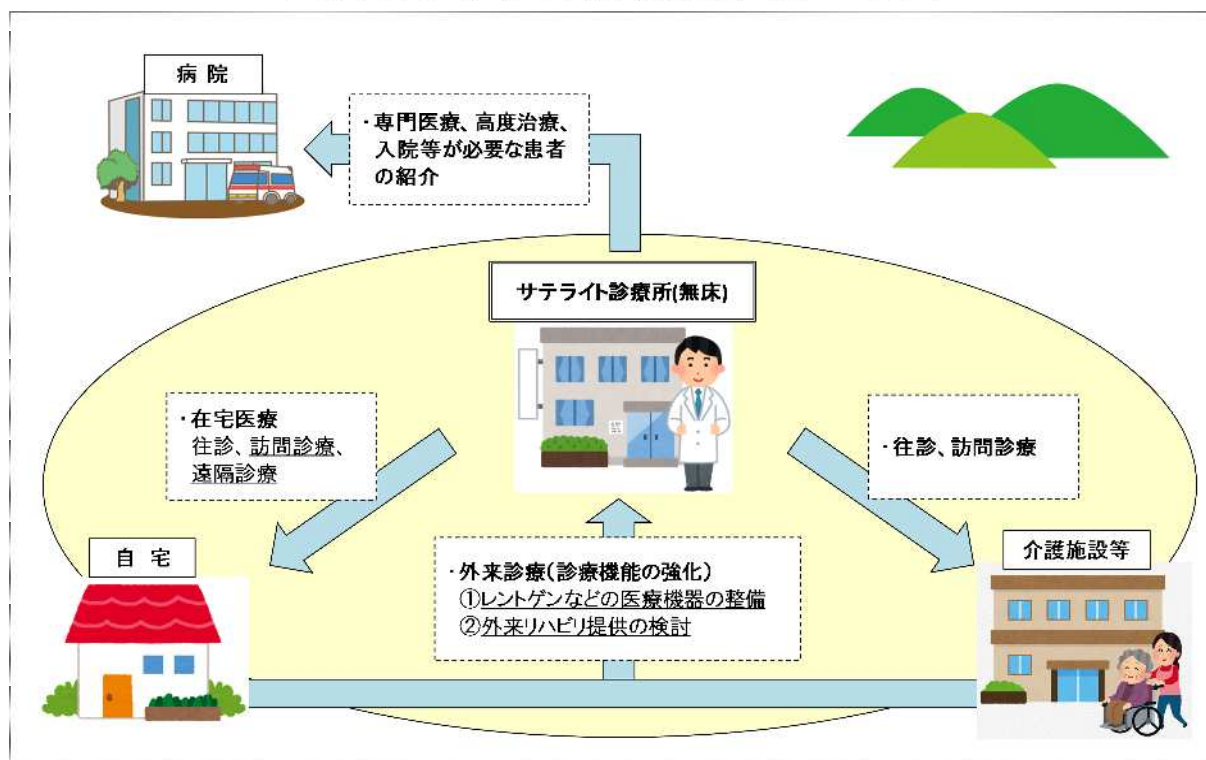
< 当面の無床サテライト診療所について >

平成31年4月以降も、当面は無床のサテライト診療所として、これまでどおり、小高病院で提供する外来診療、在宅医療、遠隔診療等を継続し、さらに、診療所機能の強化を図ります。

レントゲンなどの医療機器の整備に努めます。

外来リハビリ提供に向け前向きに検討します。

当面のサテライト診療所のイメージ図

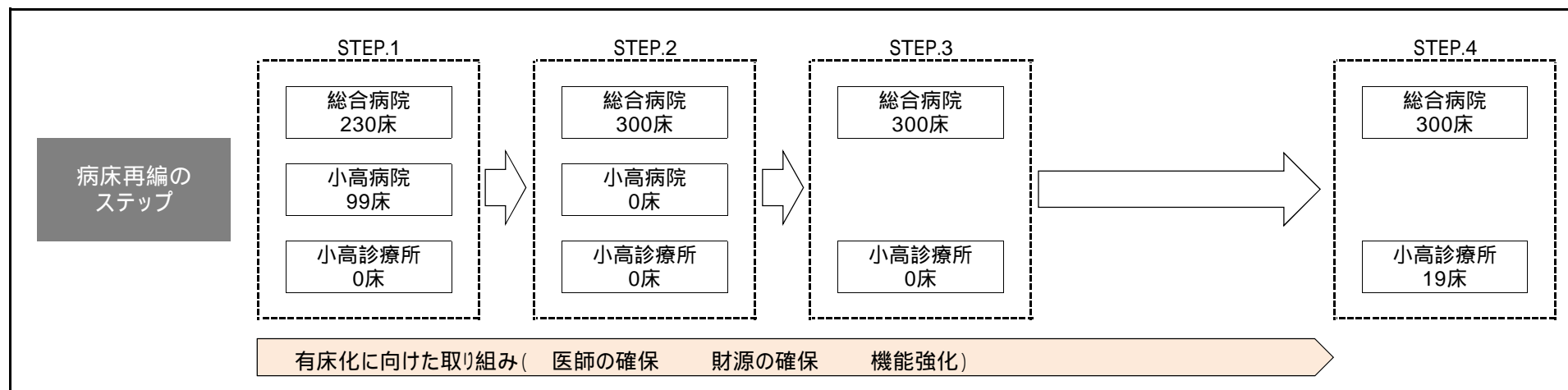


ただし、小高病院本館取り壊しのため、平成31年中に一時的に移転します。

市立病院病床再編に向けたスケジュール(予定)

項目	2019年度												2020年度																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
議会		STEP1											STEP2												STEP3											
県手続き	← 県協議 →																																			
小高病院解体																																				

小高病院については、当面、現状の外来診療棟で運営し、病院本館解体に伴い、2019年8月頃を目途に保健センター等へ一時移転し、外来診療を継続する。



「STEP.4」については、まずは医師の確保などの課題解決に取り組む予定。